

あすなろ武川薬局便り

歯周病治療・予防で血糖値コントロールを良好に！！

(1) 歯肉炎



2008年7月

- ◎ 最近の研究で歯周病によって起こる炎症が原因で発生する物質が、糖尿病の血糖値コントロールに悪影響を与えることがわかってきました。つまり、これは歯周病を治療、予防することが出来れば、結果的に血糖値コントロールにも良好な影響を与えることが出来るということです。

歯周病の原因は歯の表面に付着した生きた細菌である「プラーク」ですが、**食べかすの状態を取り除いてしまえば「プラーク」にはなりません。**

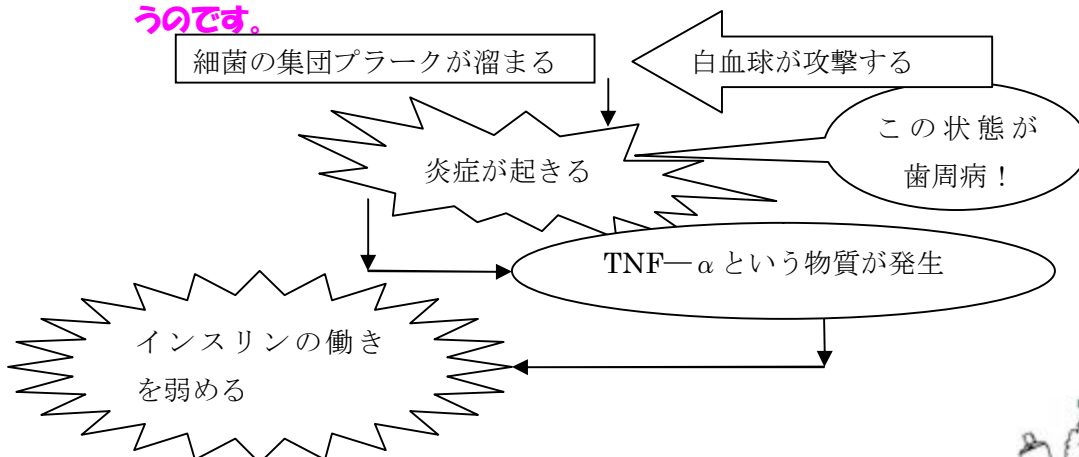
また、歯周病を治療することはもちろんですが、歯周病予防の観点から、**普段からかかりつけの歯科医に定期的に受診することはとても良いことです。**

なぜ、歯周病だと血糖コントロールが悪くなってしまうの？

- ◎ 歯周病の原因はプラークという歯の表面に付いた生きた細菌です。プラークは歯茎と歯の間にできた溝に住み着き、歯茎の炎症を招きます。炎症が起きるのは細菌とそれを追い出そうとする白血球やリンパ球などの細胞との戦いが起こるからです。

最近の研究でこの白血球から戦いの際、つまり炎症が起きると出される物質、「TNF- α 」というものが血糖コントロールを乱す物質だとわかってきました。

この「TNF- α 」という物質は血糖値を下げる物質であるインスリンの働きを弱くしてしまうのです。



歯周病予防と血糖値コントロールのためにも



食べたらずぐに歯磨きを！！